

2020年度 馬毛島体験活動参加者感想文概要

①	<ul style="list-style-type: none"> * 馬毛島の人が種子島に移住する背景に何があったのか。 * 馬毛島に43種類の生物や絶滅危惧種が存在していることが分かった。 * 自然あふれる馬毛島に基地ができることは反対である。 * 馬毛島に基地ができたとしても、学校や遺跡など取り壊さないで欲しい。
②	<ul style="list-style-type: none"> * 昔は馬毛島に人が住み定期船があり、島の形が平たくなくこんもりしていたことを父から聞いた。 * 父も行ったこともない馬毛島に行けることにワクワクした。 * 渡航の途中、トビウオが飛んでいた。 * 旧小中学校で、自分と同じ年齢の子供らが学んでいたと遠い昔を心の中に感じた。 * 生活排水がないからか、海が透き通っていた。 * 馬毛島への米軍訓練施設は、世界で争いが続いているから必要なのかもしれないが、自然が壊されるのは嫌である。 * 世界から人類の争いがなくなり、馬毛島の自然が守られて欲しいと思った。
③	<ul style="list-style-type: none"> * 馬毛島に大きな建物があり驚いた。 * 虫がたくさん飛んでおり、大自然の中にいることがうれしくなった。 * マゲシカの親子が走っているのを見た。もう少し近くで見たかった。 * 非常食のカレーと根菜汁食べたが、思っていたよりもおいしかった。 * 黒板に記念に落書きをした。 * 馬毛島の自然や生き物を近くで見ることができうれしかった。
④	<ul style="list-style-type: none"> * 父も体験活動に参加することができ、大変喜んでいました。 * 初めて漁船に乗りワクワクした。 * 海がきれいで、早く海水浴をしたいと思います。 * 見たこともない大きなブルトナーがとまっていた。 * 釣った魚を漁師の方がさばいて焼いてくれた。おいしくておかわりをした。 * 帰りの漁船での馬毛島周遊は、いつの間にか寝てしまい残念だった。 * 今回の活動で馬毛島が大好きになった。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> * 歩くのは苦手だが、馬毛島の体験活動は楽しかった。 * 馬毛島のガジュマルはとてつもなく大きく、空を埋め尽くしていた。 * ガジュマルのツルにぶら下がって遊んだ。 * 高校生と友達になり、部活動や好きな歌についていろいろ話した。 * 釣った魚を食べたが、いつも食べる魚よりホロホロで味が濃かった。 * 楽しい1日であり、一生記憶に残る思い出となった。 * 友達の作り方や、種子島や馬毛島の歴史などいろいろなことを学んだ。 * これからもいろいろな事を学びチャレンジし、日々の生活に生かしたい。
⑥	<ul style="list-style-type: none"> * 体験活動に参加できたことは、大変貴重で楽しかった。 * 種子島が食糧難の時、馬毛島のソテツの実を集めダンゴにした話を聞き、どうやってダンゴにしたのか知りたいと思った。 * 魚釣りを初めてしたが、根気が必要だと思った。 * 次の機会にマゲシカを近くで見て写真を撮りたい。

⑦	<ul style="list-style-type: none"> * 種子島に転校すると決まった時から、馬毛島に行ってみたくと思った。 * 高坊港（洲之崎小屋跡）では住居はなく、周りが石で囲まれていた。 * 旧小中学校は自分が通っている学校の半分しかなく、図書室と放送室が一緒になっていた。いつまでも残しておいて欲しい。 * 名前を黒板に書き、消えずに残ったらすごいと、未来を想像した。 * 釣ったメジナを早く母に見せ、塩焼きにして食べたいと思った。
⑧	<ul style="list-style-type: none"> * 漁船に初めて乗った。海面がキラキラとしていて、たくさんのトビウオが飛び、海中はエメラルドブルーに輝いていた。 * ガジュマルトンネルに感動した。枝やツルなどが自由にのびのびとしていた。 * 種子島との関わりも分かり、もっと馬毛島の自然や歴史を知りたいと思った。
⑨	<ul style="list-style-type: none"> * 去年は抽選で外れたが、無人島の馬毛島の冒険が楽しみだった。 * 土ばかりに見えた島だったが、緑がうっそうとしていて、人が住んでいない分、動物や植物がすごくのびのびしているような気がした。 * 釣った魚をその場で食べ、ぜいたくな気分になった。 * 開発が進んで豊かな自然がなくなるのは残念だが、自然だけで生活できず、どちらも大切にしていく方法はないのか。 * 願わくは、訓練場がいなくなるぐらい、平和な世界になってほしい。
⑩	<ul style="list-style-type: none"> * マゲシカを見ることはできなかったが、たくさんいることは感じられた。 * 漁師が昔住んでいた「洲之崎小屋」には、石垣や割れた茶碗が残っていた。家に帰って小屋のことを調べてみると、住吉とも関係がありびっくりした。 * 非常食を食べたことがなかったので楽しみだった。おいしかった。 * 放送室にレコードがあったが、初めてレコードを見たのでワクワクした。 * また、馬毛島に行くことができれば家族と行きたい。
⑪	<ul style="list-style-type: none"> * 黒板に自分の名前を書いて遊んだ。 * 海水浴で足がつかないくらいところで遊び、浮き輪が流されパニックになった。 * 写真をたくさん撮ったが、最初の海しか撮れていなかった。 * 釣った魚を母に焼いてもらったが、くさくてまずかった。友達は馬毛島でおいしそうに食べていたが、時間がたったからまずくなったのかと思った。
⑫	<ul style="list-style-type: none"> * 馬毛島の海は種子島よりも透き通っていた。人が住んでいないからきれいなんだと思った。 * 洲之崎小屋周辺に茶碗のかけらが落ちていて、人々がこの場所で暮らしていたことを思った。 * 初めて魚を釣ってうれしかった。 * 高坊港の海岸で球根のようなものを拾い、家で調べるとソテツの種であることが分かった。ソテツは種子島島民の飢えを救ったので、ソテツの種を拾えてうれしかった。 * ソテツの種を拾ってから育て方を調べ、ソテツを育てている。まだ根もはえていないが元気に育てたい。

<p>⑬</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 残された建物から、今にも子供が出てくるのではないかと思った。 * 旧小中学校の中にいる時、過ごしたことなどないのに懐かしい気持ちになった。 * 手つかずの状態に残された本やレコード、鉄琴など生活の跡が残されていた。 * また馬毛島に来ることは、きっと難しいかもしれないと思った。だから、馬毛島で感じたことを忘れずにいようと強い気持ちで参加した。 * こんなに楽しく自然を学べたのは初めてだった。
<p>⑭</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 自然豊かな馬毛島を基地にしてはいけないと思う。 * 森を切りマゲシカの住みかを奪うことは自然破壊である。少しは馬毛島の生き物や元島民の気持ちを考えて欲しい。 * 元島民の祖母と馬毛島に釣りやアナゴ取りに行くが、これからも馬毛島でそのようなことをしたい。
<p>⑮</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 馬毛島から見た種子島の景色はとてもきれいだった。 * 航空写真で馬毛島を見ると、滑走路は十字に交差し島の端から端まで続いていることから、たくさんの木が切られたと思う。 * これから先も、馬毛島にきれいな空と海、緑が残っていて欲しい。 * もう行くことはないかもしれないが、この景色はずっと心に留めておきたい。
<p>⑯</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 体験活動で自然にふれることで、その大切さを身近に感じる事ができた。 * 学校や高坊港の石積みが壊れることもなく、現在も残っていることに驚いた。 * 教室の黒板に自分の名前を書き、自分が来た証拠として残せて嬉しかった。
<p>⑰</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 今は馬毛島には限られた人しか行けないが、今回の体験活動で馬毛島へ行けたことが、どれだけ貴重であるが実感した。 * 今回の体験活動で馬毛島と種子島を学んだが、どれだけ自分が馬毛島を知っていないかを痛感した。 * 馬毛島での米軍基地問題や乱開発問題に対して、これまで以上に不満を抱いた。また、これらの問題に対し、どのように対応するか今まで以上に考えなければならぬと感じた。 * 美しい宝の島「馬毛島」が戻ってくることを心から願っている。
<p>⑱</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 体験活動で、馬毛島の歴史や文化、自然など様々なことを知ることができた。 * 馬毛島の事をたくさんの人に伝えるため、種子島に住んでいる人が、もっと馬毛島について調べたり、知識のある人が教えていく必要がある。